



SINCE 2005

Vol.230
monthly issue

加子母通信

June 2024



よろしく! チーム岩野屋

星降る夢語り in 加子母



星降る夢語りin加子母

4月28日、福崎公園で「星降る夢語りin加子母」が開催されました。2013年度加子母中学校卒業生の運営委員会によって企画・運営されたこの企画。「私たちの地元である加子母がもっと活性化するように、より楽しい町になる事を意図して開催しました」と語る、20代の加子母人に話を聞いてみました。

イベントの具体的な内容は？

今回のテーマは「星空を眺めながら夢・情熱・野心を語る交流会」というものです。趣味や家族、仕事、住む場所など… 人生の今後について色々な人と語り合う場を作るというのが目的でした。とは言っても、堅苦しいプレゼン大会というわけではなく、けいちゃんとカクテルの屋台も準備して、食べながら飲みながらみんなでワイワイできるようなイベントになりました。

当日の様子

当日は県外も含めて、約30名の方が集まりました。加子母の内部と僕らの友人を中心に人を集めて、一番遠い人はなんと青森から…。参加者は初対面同士でテーブルを囲むことになるので、うまく話題が回るか不安でしたが、蓋を開けてみると色んな人から「またやって欲しい」「楽しかった」という声をもらいました。

当日印象に残ったこと

イベントの中では2つ企画をやりました。1つは、僕らの同級生であり、歌手を目指している笠井愛子さんの歌のステージ。もう1つは、僕の父が趣味でやっているタロットの星占いです。どちらも、とても盛況でした。笠井さんは加子母近郊のイベントで、歌を披露する機会があるので、よかったらぜひ聞いてみてください。

終わってみてどうだった？

企画、準備、運営まで、全て自分たちでゼロから作っていったので、色々大変なこともあったのですが、参加された人たちが楽しんくれたので何よりでした。また、多くの人に温かくサポートしてもらい、自分たちは恵まれているなど感じました。

イベント開催まで大変だったことは？

開催にあたって一番不安だったことは当日の天気です。まだ天候が不安定な時期なので、イベントの最中に雨が降ってきたり、寒くて参加者が楽しめなかったりした場合はどうするか、運営メンバーでかなり話し合いをしました。そして迎えた当日は幸運にも雲ひとつない見事な晴天で、イベントのコンセプトにしていた星空も綺麗に見ることができました。

イベントをやろうと思ったきっかけ、思い

僕たちの学年はちょうど10年前に加子母中学校を卒業して、今年で26歳になります。クラスメイトの近況を聞くと、趣味に没頭している人、自分で事業を作っている人、新しい家族ができた人など… 人生で色々新しい挑戦をしている人たちがばかりで、そんな話を色々シェアできる場所があったら面白いんじゃないか?と思ったのがきっかけでした。そして、せっかくならこれを1つのイベントにして、加子母の魅力発信にもなればという思いで企画をしました。

詳細は未定ですが、来年は夏頃に2回目のイベントができたらいいなと思っています。興味があれば、ぜひご参加ください!



星降る夢語り2024実行委員会
企画 丹羽 庸さん



みつ
ひろのみつたか
廣野満貴 (27歳)

18歳の時に加子母木匠塾に入ったことをきっかけに加子母を知りました。3年ほど前から加子母でも活動しており、気がついたら住んでいました。

仕事は、サービスディレクター、広報ディレクターとして一緒にサービスを考えたり、ブランディングやホームページ、動画や写真、印刷物、SNS運用など広報関連を請け負っています。

加子母の毎日見ても飽きない景色や気軽に声をかけてくださる皆さんとの距離感が大好きです。

車の免許を持っておらず、よく歩いているので、歩いているところを見かけたら声かけていただけると嬉しいです!



はらだかなえ
原田佳苗 (27歳)
木匠塾OG

加子母が好きで木匠塾を卒業してからも頻繁に通っているうちに、地域おこし協力隊という制度を知りました。社会人を経験後、デザインビルド教育の研究を行うため現在は大学に通っており、大学での研究の成果を加子母に還元するため地域おこし協力隊に応募しました。

大学での研究を活かして、域学連携の活動に積極的に取り組みたいです。また、大学に通いながら活動するので加子母に居られる時間は限られますが、加子母の良いところをたくさん知ってそれを発信していきたいです。

食べるものは育てること、足りないものは作り出すこと、加子母で当たり前に行われていることが、貴重で重要な経験です。加子母には素晴らしい風土と人と文化があると思っています。加子母の皆さんの力になれるよう頑張ります!よろしくお祈いします!

よろしく！ チーム岩野屋

この春から、加子母暮らしを始めた三人の若者達があります。これから、加子母が大好きな三人が加子母の魅力を再発見・発信してくれることを期待して、まずは自己紹介をしてもらいました。出会った皆さん、お世話になります!



やまもとあきと
山本明斗 (23歳)
2021・22年木匠塾総幹事

かしも歌舞伎で出演したことをきっかけにたくさんの加子母の方とお話することができ、加子母を好きになったから、地域おこし協力隊になりました。加子母の暮らしや歴史の中で積み上げられてきた暮らしの知恵みたいなものを可視化したいです。加子母は、生の日本文化がちゃんと残っている日本でも珍しい地域で、均質化されて行く現代において地域性をちゃんと感じれる場所だと思います。

加子母暮らしを学びたいので家に泊めてくれる方募集してます!!

わが家のPet!



二渡 モモちゃん #45

佐藤家の「モモ」9歳です。女の子。柴犬の混じったミックスです。たいてい…知らんけど。趣味は散歩。夕方4時きっかりに吠えて佐藤の旦那に散歩の時間だって教えてあげるんだ。時々、犬権利を使って散歩から帰りたくないって訴えるんだけどね。モモちゃんのLINEスタンプの中にお散歩から帰りたくない「全力拒否」がとっても可愛くて紹介したいですとお願いしました。

モモちゃんのご主人&りえ

かしもっ子タイムズ no.9 丹羽淳一

ビワイチと加子母

5月2日(木)に自転車で琵琶湖を一周して来た。通称ビワイチというらしい。6時に琵琶湖の長浜から出発して琵琶湖大橋を渡り、16時に長浜に戻ってくる全長150kmのコース。休憩を合わせた所要時間は10時間で平均速度は22km / 時。消費カロリーは約3,000kcalだ。装備は専用ヘルメットやクッション付きのインナーパンツ、ペダルと足を固定するサイクルシューズを着用。サラリーマンで例えればスーツでビシッと決めている状態だろうか。琵琶湖に向かって出発してしばらく経った時、ヘルメットを忘れていることに気づいた。サラリーマンで言えばネクタイを忘れたと言った所だろうか。ヘルメットは無事同行者から借りることができて一安心。さて、琵琶湖と中津川だが実は面積が近い。琵琶湖は669.26平方km、中津川市は676平方kmだ。面積が近いことから中津川市関連の新聞記事などでは良く比較の対象になる。そんな事を考えながらお昼休憩を行ってからは疲れがどっと出てきた。100kmを超えた彦根あたりではヘトヘトだ。しかし一切練習できなくてもなんとか完走できた。個人的な要因としては、加子母中学生だった時、毎日小郷から自転車で通った経験が生きたのではないかと考える。現在中津川市内で自転車通学を行っている中学校は全12校中5校だ。自転車通学は毎日疲れるだろうが将来にわたって心身を支えてくれる経験になる。

所で、自転車で走っている途中で、インナーパンツをタイトの外側に履いている事に気づいた。これはサラリーマンで言えばスラックスの上からブリーフを履いている様なものだ。履き替えるのが大変なのでそのまま一周したが、皆さんも琵琶湖を一周する際は気をつけてほしい。

佐野智哉のキヅキノート

テーブルにノートを広げて、とりあえず文字を書いてみる。

文字を書くことで、考えが整理できたり、考えがさらに膨らんだり。文字をスマホで打つのもいいけれど、やっぱり紙に書くと違う部分はありますよね。落書きや余分な文字がノート上に広がっていった、それらが不意に繋がって考えが発展したり、全然違う方向へ進んだり。

それと同じようにモノをつくる時も、まず手を動かしてつくってみると、もっとこうの方が良いとか、これはダメだとか、考えがまとまってきます。

DIYで家に手を加える人たちも増えていると思いますが、やっぱりつくりながら考えるのが楽しくて理想的なのだろうと、息子と絵を描きながら思うのでした。



法禅寺へおいでよ!開催します

日時 5月31日(金) 午前10時から午後3時
場所 法禅寺 主催 お寺時間を楽しむ会

4回目になるこのイベント、地元作家の作品販売はもちろん、ピザ、おにぎり、クッキー、コーヒー他、美味しい食べ物にリラクゼーションもあります。お寺で過ごすゆったり時間、一緒に楽しみませんか?

かしも通信文芸

俣正調

とんとあれきり忘れたはずの 恋が芽生える春の雨

俣正調

俣正調

峠三里は合併案の 噂ちらほらゆく小春

俣正調

石部金さも浮気の噂 春は花故おぼろ故

小泉 水蓮

島崎 涼舟

加藤 香峰

岐阜県大会出場

先月開催された市内大会を優勝し6月8日から開催される岐阜県大会出場を決めました。この県大会で優勝が出来ると全国大会出場となります。今のチームはそれが実現できる力を持っています。

中津川北 JBC では、子供達に仲間を思いやる気持ち、周りに目配り気配りできる力、感謝の気持ちを伝えて行くことを大切にしています。

その一環として自分たちが野球ができる環境への感謝を込めて今年から月に1度奉仕活動として、地域のゴミ拾いを行っています。こうした活動の中で子供達は成長し、野球の試合でも結果を残し頑張っています。

地域の皆様、頑張る子供達の応援を宜しくお願い致します。

中津川北 JBC 監督 鎌田尚希



編集後記

編集長／秦雅文

私はいかにもそれっぽいというものに興味がありません。

明治座クラシックコンサート初めて見た時は芝居小屋でこんな真剣なクラシックコンサートをやるのかと興味をもちました。

クラシック音楽のコンサートには普通は舞台演出はないですが、明治座クラシックコンサートは初回から背景の演出を頼まれました。そもそも聴きにくお客さんは演出なんて求めていないでしょうが、それっぽくしたくない私にとってはとても興味のわく場所になりました。当時、田中千香士さんが何をしてもいいと言ってくれたのも原動力になっています。

2016年に画家の岡村桂三郎さんに頼んで、明治座アトリエナーレに出品した作品を背景に使わせてもらった時は素晴らしい舞台になって良かったのですが、私の出番を自ら無くしたことに後から後悔したことがあります。

最近では白井圭さんらの真剣な活動に触れ、たくさんの刺激をもらえるとともに、作品を作れない自分の力不足による不満が募っていました。今年はなんとか作品を登場させようと昨年からトライしてきました。コンサートを聴きに行ったら見てみてください。

小郷 けいちゃんの

こざと

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618

(サブロクジュウハチ)

定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. **79-2285**



かしも通信

2024年5月23日発行 No.230

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Ichihashi Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Niwa Junichi

Correspondent Zenda Nao

Illustrator Honma Kiyoko

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介!
食には文化があらわれる。



山菜おこわ

今年は山菜が早くから採れました。わらび、タケノコを頂いたので山菜おこわを作りました。番田の熊崎絹子さんからよく山菜おこわを頂いた。亡くなられて14年なるそうだ。色々な思いを込めて蒸しました。「やっぱり、おこわは蒸した方が美味しいね」と言われ嬉しくなりました。おこわに挑戦してみませんか?



材料

もち米	1升
わらび	2束
タケノコ	1本
干しいたけ	7枚ぐらい
人参	1本
鶏肉	200g
醤油	150cc

作り方

- ①わらびに灰をかけ熱湯をかけてアク抜きする
- ②タケノコを米ぬかを入れて茹でアク抜きする
- ③鶏肉を細かく切って炒め、切った人参、タケノコを入れ炒める。
- ④干しいたけと戻した始末の汁を入れて煮る。醤油、他の調味料で濃めに味をつける。
- ⑤もち米を洗って一晩ふやかす。もち米を30分蒸す。
- ⑥もち米を寿司おけに入れ、④煮た物、わらびを混ぜる
- ⑦15分もう一度蒸す。

ポイント

★タケノコを電気圧力鍋で4分茹でると簡単。超便利です。硬いタケノコも柔らかくなります。

★蒸し器があれば簡単。田舎のご馳走です。

★美味しい醤油が一杯あります。自分の好みを見つけてください。

加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井三月 ☎ 0573-79-2627



かしもっ子だよ全員集合!

中

学校 ▶ 4月15日(月)には生徒朝会場で学習委員長の安江未来さんが全校に向け「第2図書館の運営を生徒が考えることを通して創造力を育んでほしい。なぜなら、これからの未来は予測しにくいけど、社会は自分たちの想像力で変えられるから」とプレゼン提案を行いました。また、健康委員長の佐藤穂果さんは火、木曜日に行われる朝活の運動について、「コロナ禍より中学校の体力低下がとても大きな問題になっていること、現在のトレーニングが10年後の健康な身体につながるから2,3年生と一緒に朝のトレーニングを楽しんで取り組みましょう。」と呼びかけました。

加子母中学校の生徒は「自治」を合言葉に、自分達の発想と行動力で学校を動かしています。その理由は、先月の「かしも通信」で学校長の言葉にもありましたが、「生徒一人一人が持続可能な社会の担い手として、多様性を原動力とし、個人や社会の成長につながる新たな価値観を生み出していく」という必然性を感じているからです。新1年生も加わり、より一層パワフルなスタートを切ることができた4月でした。

小

学校 ▶ 加子母小学校では、様々な活動に「地域の先生」をお招きして学ぶ機会を設けています。5年生の「トマト大作戦」の学習では、地域のトマト農家の方からトマト栽培の方法を学びました。苗植えの仕方や水やりの方法、日光の当て方など、一つ一つの作業には意図や意味があり、地域の先生の説明に、子ども達は真剣に耳を傾けていました。おいしいトマトを作るために、毎日水やりを続けているところです。

また、全校が「ひなたぼっこ」の皆さんから、本の読み聞かせをしてもらいました。子ども達はみんな本が大好きです。楽しいお話、不思議なお話に目を輝かせて聞き入っていました。

こ

ども園 ▶ 入園から1ヶ月経ち、新入园児の子ども達も少しずつ園の生活に慣れてきました。大きいお兄さん・お姉さんに手を繋いでもらい散歩をしたり、お昼寝の時にトントンして寝かしつけてもらったり、笑顔で過ごす時間が増えてきました。5月11日(土)には今年度初めての参観を行いました。今年は全園児の親子でスタンプラリーをしました。親子の触れ合いコーナー・写真撮影コーナー・質問コーナー等、6種類の項目と一緒にクリアする姿はとても楽しそうでした。また保護者会総会も行い、保護者会活動等の事業計画等の確認がありました。今年度も保護者会の皆様のお力を借りながら子ども達が楽しく元気に過ごせるように取り組んでいきたいです。

乳幼児 ▶ 【加子母・付知子育て支援センター くるりんぱ】感染症拡大防止対応の『くるりんぱ開放日』を設けています。詳しくはこちらから→



中 新しい学校のスタート・リーダー達の思い



小 地域の先生



こ 青空のもと親子でリズム体操

6月の行事予定	
1 土	明治座クラシックコンサート
2 日	明治座クラシックコンサート
3 月	個別乳幼児何でも相談(付知福祉センター) 【こども園】節句会 【小中学校】スクールカウンセラー来校 【中学校】PTAあいさつ運動
4 火	人権相談(13～)
5 水	【こども園】避難訓練 【中学校】修学旅行(3年生)
6 木	【こども園】おにぎりの日 【中学校】修学旅行(3年生)
7 金	【中学校】修学旅行(3年生)
8 土	
9 日	大型・有害ごみ(9～13) 加子母環境デー(花植え)
10 月	【こども園】ALT訪問 【小中学校】家庭学習がんばり週間(～14日) 【中学校】2期開始・委員会
11 火	行政相談(13:30～)
12 水	2歳児相談(付知福祉センター) 【中学校】心電図検査(1年生)・血液検査(2年生)
13 木	【小中学校】PTA連合定期大会
14 金	【こども園】交通安全教室 【中学校】漢字検定
15 土	
16 日	不燃・硬質・資源ごみ(17～18) 加子母軽トラ朝市(9～12) 家庭の日
17 月	【小中学校】スクールカウンセラー来校
18 火	【こども園】かしもっこ広場 【中学校】中津川市少年の主張大会
19 水	1歳6か月児健診(福岡保健センター)
20 木	
21 金	【こども園】歯科検診
22 土	【中学校】中体連市内交流戦(剣道・卓球)
23 日	【中学校】中体連市内交流戦(バレー)
24 月	農事改良組合長会(19:30～) 3か月児健診(福岡保健センター)
25 火	区長会(14:00～)
26 水	特定健診・がん検診(ふれあいの館かしも)
27 木	
28 金	【こども園】年長お楽しみ会 【小学校】授業参観・学級懇談会(午後) 【中学校】市教育研究会のため早帰り
29 土	【中学校】中体連東濃地区大会(バスケットボール)
30 日	市操法競技大会(馬籠ふれあい広場) 【中学校】中体連東濃地区大会(バスケットボール)

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。
みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。（加子母総合事務所:0573-79-2111まで）

加子母公民館改修工事のお知らせ

加子母公民館(ささゆり会館)は、下記の期間、改修工事のため利用できません。ご迷惑をおかけします。
◆工事期間:令和6年6月1日(土)～令和7年3月31日(月)

補助金制度のご案内

★高校生バス通学補助制度補助金

中津川市では、高校生のバス通学への補助金制度を実施しています。令和6年度の申請を受け付けていますので、手続きがお済みでない方は、お早めにお申し込みください。
◆対 象:高校へのバス通学定期券(現金・回数券等は不可)
◆申込期限:令和7年3月14日(金)
◆詳しくは、中津川市役所定住推進課、加子母総合事務所へお問い合わせください。

★猫の不妊去勢手術支援事業補助金

動物と人にやさしい中津川市を目指して、猫の不妊去勢手術費用の一部を補助しています。猫の多頭飼育や糞尿により近隣へ悪影響を及ぼしたり、飼い主不明の猫(いわゆる野良猫)については、飼っていただけの方が見つからず、殺処分されることもあります。そういった猫を減らすためにも繁殖を抑制することにより、周囲への危害や迷惑の防止を図り、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向け、市内の猫への不妊去勢手術に対して補助を行うものです。
◆補助額 メス:6,000円／頭 オス:4,000円／頭
※手術費が補助額を下回る場合は、補助額は手術費の額となります。
◆詳しくは、中津川市役所政策推進課、加子母総合事務所へお問い合わせください。

図書室だより

【6月おすすめ図書】

■なれのはて(著 加藤シゲアキ)

ある事件をきっかけに報道局からイベント事業部に異動することになったテレビ局員、守谷京斗。異動先で出会った吾妻李久美が祖母から譲り受けた、作者不明の不思議な古い絵を使って「たった一枚の展覧会」を実施しようと試みるが…。

■起業するなら「農業」をすすめる30の理由 (著 鎌田佳秋)

農業に関わる人々へ向け、「着実に利益を積み上げる手法」を水平展開していくアグリハックの提案を行う1冊。どのように収益モデルを構築していいか、どうしたら一般的な会社員のように安定し、より多く稼げるようになるのかについて綴る。

■糖尿病の人の簡単作りおきレシピ (著 牛尾理恵)

糖尿病の食事療法を無理なくつづけるためのヘルシーでバランスのいい、作り置きおかずのレシピ集。一度作っておけば1人なら4～6回分、冷蔵できてパパッと食べられるもの、冷凍でちょっと長めに保存できるものをラインアップする。

■考える力が身につくおうち科学実験 (監修 早稲田大学理工学術院統合事務・技術センター技術部)
身近なものでできる実験がいっぱい。実験の「なぜ?」「もっと知りたい」をくわしく解説。自由研究にも使える!

■大ピンチずかん 2 (作 鈴木のりたけ)

進化した大ピンチグラフ採用でピンチの理由をときあかす!!突然のピンチにしっかりそなえよう。



加子母の人口と世帯数(令和6年5月1日現在) 世帯数:940世帯 男:1,169人 女:1,202人 計:2,371人
